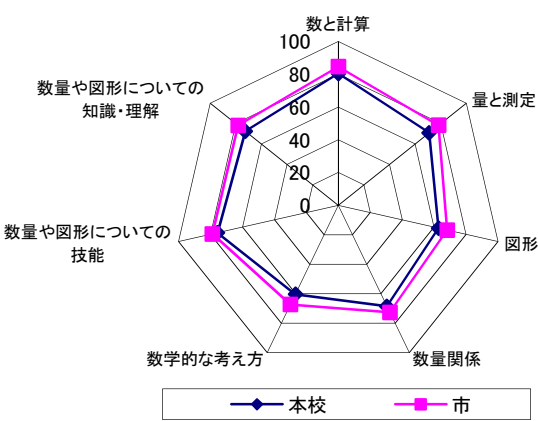


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	80.4	84.6
	量と測定	70.9	78.3
	図形	62.9	68.2
	数量関係	68.5	72.6
観点別	数学的な考え方	60.3	67.3
	数量や図形についての技能	75.6	78.9
	数量や図形についての知識・理解	72.5	78.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・分数の乗法、除法や分数、小数、整数の乗法と除法の混じった計算は正答率も高くよく理解できていた。しかし、分数の除法に関する文章題の立式でつまずきが見られた。	・文章問題を扱う際には、問題場面を図や数直線で表し、問題文を読み解いていく手立てを説明しながら、正しく立式できるようにするとともに、様々な場面の文章題を解くことで習熟を図る。
量と測定	・速さと時間から進んだ道のりを求める問題では正答率も高くよく理解していたが、速さの単位の関係で、分速から時速に直す問題については、つまずきが見られた。 ・三角形、円の面積を求める式の問題では、正答率が88%程度であったが、平行四辺形の面積や三角柱の体積を求める問題では、正答率が低く60%程度だった。	・速さ、道のり、時間の関係を復習し、速さの単位の関係について問題場面に即して説明したり、練習問題を通して習熟を図ったりする。 ・面積や体積の問題については、公式の使い方だけに留まらず、図形の様々な見方に慣れさせながら、練習問題に取り組ませる。
図形	・点対称な図形、三角柱の展開図の問題では正答率も高くよく理解していたが、線対称な図形、円を使って正多角形をかく問題では、つまずきが見られた。また、円の半径から円周を求める問題では、誤答が多かった。	・対称な図形、角柱と円柱の理解を深め定着を図るために、復習問題に取り組ませる。 ・正多角形、円周については、半径と円周、正多角形と円の関係を整理しながら復習させるとともに、練習問題を通して習熟を図る。
数量関係	・「割合と比」「文字の式」「比例・反比例」とも、基礎的な問題については、正答率も高くよく理解していた。特に、比の値の正答率が91%、帯グラフの正答率が89%であった。しかし、活用問題につまずきが見られ、等しい比を選んだり、帯グラフから割合を読み取り、比較量を求める問題では、誤答が多かった。また、「割合と比」の情報を読み取り、比を使って必要な量を求める記述式の問題では正答率が低く、記述式問題に対するつまずきが見られた。	・「割合と比」「文字の式」「比例・反比例」ともさらに理解を深められるように復習問題に取り組ませる。また、活用問題については、基礎的な事項との関連を図りながら、数多くの問題に取り組ませる。正しく計算できるように、補助計算の過程から丁寧に取り組ませるようにする。 ・記述式の問題については、授業の中で、考え方や立式をていねいに学習することで、記述式問題に慣れさせていく。